



特定非営利活動法人
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
2009年度事業報告書

◆FTCJ事務局◆

〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6丸幸ビル3F

TEL&FAX:03-3835-0221

Email:info@ftcj.com

URL:http://www.ftcj.com

2009 年度事業報告書

2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日まで

1. 2009 年度 事業を実施して

▼はじめに

(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン(FTCJ)は、2009 年度で設立 10 周年を迎えました。10 年間活動を継続できたことは多くの人々のご支援ご協力のお陰です。支えて下さった皆様に理事一同心より感謝申し上げます。しかしその一方で、私たちが活動を継続せざるを得ない環境が続いていること、つまり、世界の多くの子どもが貧困や紛争、災害などにより権利を奪われた状況にあることを考えれば、10 周年を迎えたことを喜んでばかりいられません。このような子どもをめぐる状況が一日も早く改善され、子どもの権利が回復されるよう、理事及び事務局スタッフ一丸となって更に力をいれて活動を展開していきますので、皆様のご協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

代表理事 伴野保志
事務局長 中島早苗

▼2009年度 活動のハイライト

FTCJ 設立10周年を節目に、事業計画の重要事業として掲げていた以下の 4 つを実施することができました。

1. 日加修好 80 周年記念 FTCJ 主催「MONKEY MAJIK チャリティーライブ」の実施
2. FTC 創設者クレイグ・キールバーガー招聘(しょうへい)プロジェクトの実施
3. インド自立支援「学校建設事業」実現に向けたキャンペーンの実施
4. 「世界を変える！みんなの力 Me to We」への出版協力

1 と 2 のイベント合わせ、延べ 2000 人以上の子どもから社会人までたくさんの皆様にご参加頂くことができました。また、「インドでの学校建設事業」実現に向けたキャンペーンを展開し、高校生メンバー主導による様々なイベントを実施することができ、まさに「子どもによる子どものための」活動が実現できました。更に、世界の問題や取組について伝えるため、FTC 創設者のクレイグと兄であり FTC のエグゼクティブ・ディレクターのマークによる著書の日本語訳書籍「世界を変える！みんなの力 Me to We」への出版協力をし、柏書房から 12 月に出版されました。
※事業実施にあたりご協力頂いた方々について事業報告ページにて詳細掲載していますのでそちらをご覧ください。

また、09 年度の重点課題としていた

1. 事業運営および管理部運営担当スタッフの確保と補充による体制強化
2. 事務局能力強化(事業に必要な知識の研修を受講するなど)
3. FTCJ への支援者層の開拓と拡大、及び資金調達強化に向けた計画的な助成金申請の実施

上記 3 点についてもおおむね実施することができました。詳細の内容、成果については以下のとおりです。

- 1- 09 年 10 月から事務局運営のための専従スタッフとして人員 1 名を設置(出野恵子/理事としても活動)し、FTCJ10周年事業(チャリティーライブ及びクレイグ招聘事業)を滞りなく実施することができました。更に、その事業を通じて FTCJ に関心を持った人々への対応などの事業フォローアップに取り組むことができました。
- 2- 総務、労務に関する 3 つの研修を事務局管理部担当者 3 名が受講し、管理業務の知識を増やすとともに業務作業に活かしています。
- 3- サポーター制度の見直しと広報戦略をたて実施したことにより、2010 年度へつなげることができました。
- 3- 助成金申請担当者の増員により、助成金情報の調査と計画的な申請作業を実施。結果、4 つの助成金獲得につながりました。

その一方で、取り組めなかったり、次年度へ繰越となったりした事項もありました。具体的には、

- ・認定 NPO 法人申請に向けた調査及び作業
- ・世界の問題を学ぶことができる教材の開発とその作業
- ・個人情報の管理のためのデータベースの更新
- ・サポーター制度についての周知

上記 2009 年度中に実施できなかった事項については、2010 年度に取り組む課題として引き継ぎ、引き続き今後も更に体制を強化し良質な事業を実施し団体の目的の達成のために活動を進めていきます。

2. 事業の実施に関する事項 事業報告

1) 子ども主体事業

担当:子ども代表委員 2009 志賀アリカ(高1)、高橋亜野芽(高2)、安増千絵(高3)

◆事業の目的と役割 と 活動内容

- ・全国の子どもメンバーの活発な活動を目指し、情報交換や共有、意見交換の場をつくる。
- そのために①キッズパワーキャンペーン(児童労働を子どもに伝えるためのウォークやイベント、募金活動の実施)
 - ②FTCJ10周年事業のイベントで子どもメンバーが参加できるよう内容の企画、準備、当日司会進行
 - ③ガールスカウト日本連盟主催による事業へ実行委員として協力、参加
 - ④キッズ・キャン! チョコレートプロジェクト

活動	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数	支出額(千円)
①キッズパワーキャンペーン	子どもが児童労働の現状を学ぶ「子ども集会」の立案、準備(資金調達・広報)、運営	6/7	東京 ユニオンチャーチ	12人	48人	189
	人々に問題を伝えるためのウォークの立案、準備(資金調達・広報)、運営など実施	6/7	東京 渋谷・原宿	12人	52人	
	「インドに学校を建てよう!」子ども募金	通年	カナダ大使館、 その他イベント	12人	2500人	
②FTCJ10周年事業イベント	「クレイグと学ぼう!世界を変えるため子どもだからできること」司会進行担当	12/12 15~18時	明治学院大学 白金校舎 3102教室	21人	160人	アドボカシー事業で報告
	10周年事業交流会での準備、スピーチ	12/12 19~21	明治学院高校 会議室	9人	50人	
③ガールスカウト主催イベント	ガールスカウト主催事業「全国ギャザリング」へ実行委員として参加協力(立案、運営)	12/25~ 27	国立オリンピック記念青少年総合センター	3人	150人	—
④チョコプロ	インドの学校建設と国内の子どもの活動の資金を集めるため、チョコレートの販売するプログラム。パッケージのデザインや価格設定、販売を子どもメンバーが担当し実施。	12月~ 3月	事務所、その他	7人	453人	子ども活動応援事業で報告

【活動にご協力頂いたみなさまのご紹介】

—キッズパワーキャンペーンの実施に対し、下記の方々にご協力頂きました。

助成金:ゆめ応援ファンド/後援:文部科学省(キッズウォーク・集会)/会場提供:東京ユニオンチャーチ、カナダ大使館
取材:読売ジュニアプレス、しんぶん赤旗、朝日小学生新聞

—チョコプロ活動の実施に対し、下記の方々にご協力頂きました。

商品提供:東京・千鳥屋 / 商品紹介協力:シンプル家事.com

【写真で見る子ども主体事業】



☆6/7 子ども集会で児童労働について話すキッズウォークキャンペーン企画者でリーダーの宮田真理子ちゃん(左)と小林ななこちゃん



☆6/7 キッズウォークの様子「子どもには労働ではなく、教育を!」高校生以下の子ども50人で渋谷と原宿を歩きながら、児童労働問題を伝えました。



←写真左

☆12/12 第2部の司会を担当した子ども代表委員の志賀アリカちゃんと高橋亜野芽ちゃん(左)とクレイグ

写真右→

☆チョコプロの企画で子どもメンバーデザインのチョコレート。453セット販売しました!(協力:千鳥屋)



◆1年をふりかえって / 感想: 子ども代表委員 志賀アリカ

・2009年度全体を通して

この一年は、沢山の新しい取り組み(ガールスカウトとの連携)や特別なイベント(クレイグの来日など10周年事業)に恵まれ、とても充実した日々を送る事が出来ました。より広い分野に関わる事によって視野や人脈も広がり、今後の活動がさらに活発になるのではないかと考えています。私にとって一番刺激となったのは、組織内でも外でも同じような志を持つ仲間に出会えたことです。大変心強く思うと同時に活発に活動している仲間を負けていけないという熱い気持ちにもなりました。これからは今まで築いた人脈を生かし、さらに積極的に活動していきたいと思っています。

・FTCJ10周年事業「クレイグと学ぼう!世界を変えるため子どもだからできること」を実施して

今回のイベントを通し、最もひしひしと感じたのは「思い立ったらすぐに行動する」ということです。今振り返れば、自分は何となく多くの貴重な機会を逃してしまったのだと思います。わずか12歳にしてFTCを設立し、精力的に活動を続け、今や世界中に広がっているほどの組織を作ったクレイグ…。彼は凄い!!あんなこととても真似できない!!私もそう思います。しかし、一方で誰もがクレイグになる機会があったとも思います。自分だって何かをしたい、中にはクレイグと同じように仲間を集めて自分から活動する組織を作りたい、なんて思った人だっているかもしれません。それなのに第二のクレイグが現れない理由はただ一つの違いです、行動にすぐ移したかどうか。とてもシンプルですが、出来そうで出来ない非常に難しい事です。自分に出来るのかという懸念から始まり、相手にしてくれないかもしれない、やり方もわからないし、お金もないし…そうやってずるずると時間は過ぎ、次第に自分がはじめ何をしたかったのかが曖昧になって、タイミングをつかめずに終わってしまうのです。

踏み出すことにはとてつもない勇気がいるし、その先にあるものは不確実でもあります。それなのに踏み出したからクレイグは今、皆から尊敬される人となったではないでしょうか。ただ、今回クレイグ本人と会って、彼が真剣に熱く語るのを聞いて、物凄く勇気をもらいました。自分にはまだできる事がある、もっと成長も出来る! そう気付かせてくれた体験だったと思います。これからはやりたいと思ったらずきにやる。それが本当にすぐやっても許されるのは今が最後のチャンスかもしれません。というのも大人という立場に分類されれば、ある程度先を見据え準備を踏まえたうえで行動しないと、後先を考えない単細胞という事で終わってしまう恐れがあるからです。今だからこそ本当にやりたい事に全力で突っ込んでいけると思います。鉄は熱いうちに打て。熱い思いを保ち続け、真っ直ぐ目標に向かっていけば、いずれそれが柔軟に形を変えて自分だけの形となり、堅く、強く、光沢を出して輝くのではないかなと思いました。

◆FTCJ10周年事業 クレイグ来日イベント / 感想: 子ども代表委員 高橋亜野芽

今回は司会という重大な役目をいただき、自分の中で成長につながる大きな1歩を踏み出した気がします。初めは緊張や不安があったのですが、夢にまでみていた憧れのクレイグさんを目の当たりにして、大きな自信と責任感が膨らみました。そして本番ではクレイグさんの波を崩さないように、できる限りのキャパでやらせていただきました。不十分なところは多少ありましたが、とても良い経験になりました!クレイグさんが来日する前に色々な情報を集めてお会いする準備をしていました。私の中でとても大きな存在で「12歳」で世界を変えた少年。それから14年間お現役で世界で活躍しているキーパーソン。お会いできると知ってわくわくしてました。実際お会いして、「本物」であると同時に彼の「熱意」が真実であることを知って心から感激しました。彼の熱意が伝わって自分も「今何が出来るか」とも考える時間となりました。

FTCとして「子ども達に自由を」そして「自分自身に自由を」。大人になっても心の自由がないまま成長している人が増えてきている気がします。肉体だけではなく、心から自由になることが今の私達にも必要とされていると今回のイベントを担当して感じました。

◆活動をふりかえって / 感想: キッズパワーキャンペーン・リーダー 宮田真理子(高3)

私は児童労働の問題を広く伝えたい、子どもの活動の輪を広げたいという思いからキッズパワーキャンペーンを企画してきました。このキャンペーンの一つとして6月7日に子ども集会とキッズウォークを行いました!都内1200の学校にポスターとチラシを配ったところ、約50人の中高生が参加してくれました。集会ではクイズや朗読劇を通して児童労働について学び、ウォークでは「ストップ!ストップ!児童労働!世界の子どもの教育を!」という掛け声と共に表参道、原宿、渋谷を歩きました。今回の活動を通じて、「子どもでもこれだけの事ができるんだ!」と子どもの力を強く感じました。私達には社会や世界に影響を与える力、発言する権利があると思います!これからも同じ気持ちを持つ仲間とのつながりを広げ、多くの人にこの問題を伝えていきたいです。

2) 子ども活動応援事業

担当: 永野恵理(事業リーダー)、出野恵子、片野由加里、佐藤美紗子、鈴木悠仁子、田中大勇、
中島早苗、西垣春奈、原口直敏、町井望、天野冬樹、椎橋一樹

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

- 1) 国内の子どもが、世界の開発途上国で見られる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
- 2) 国内外の子どもの権利の擁護を求め、子ども参画を果たすための子どもによる活動のサポートを行う。そのために
ー育成事業 ①夏キャン! in 東京、②冬キャン! in 東京、③リーダーシップトレーニング(LT) などイベント実施や、
④プログラム・教材開発
ーメンバーサポート (⑤子ども主体事業サポート、全国のメンバーの活動サポート) に取組みました。

活動	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数	支出額(千円)
①夏キャン! in 東京	3泊4日のプログラムの中で、参加者の子どもが子どもの権利や、貧困や児童労働など世界の現状を学びそれらの問題を解決するためにできることを見つけ、行動を起こすための計画(アクションプラン)を立てる。	8/2~5	東京 高尾の森 わくわくビレッジ	8人	6人 (小学生~高校生)	187
②冬キャン! in 東京	映画上映ワークショップを通して、世界の貧困の中におかれた子どもの現状を学び、それについて感じたことを参加者同士でディスカッションを行い、問題への理解を深める。	1/31	JICA 地球ひろば	3人	8人	15
③LT	FTC カナダのスタッフ(Alex)による2日間のワークショップを実施。1日目:参加者が世界の現状をゲームやワークを通して学び、自分にできることしたいことを深く考え、一歩を踏み出すストーリーを創る。2日目:参加者がグループで行動を起こすにはどうすればいいかをゲームやワークを通して考え、チームビルディングの方法を実践的に学ぶ。	3/27、 28	文京学院大学 本郷キャンパス B館 811	5人	40人	51
④プログラム・教材開発	貧困などの世界問題や子どもの権利について学ぶためのゲームキットや映像、ワークショッププログラムの開発。	通年	事務所	8人	全国の子ども、おとな	195
⑤子ども主体事業サポート	キッズパワーキャンペーンやチョコプロへのサポートを実施。上記活動を担当する子どもメンバーに、企画書や助成金申請書の書き方、電話のかけ方、ポスターやチラシの作成などサポート。	通年	主に事務所	5人	子ども代表 委員中心に 子どもメンバ ー	100

【活動ご協力のご紹介】

ープログラム・教材開発の実施に対し、下記の方々にご協力頂きました。

「リーダーシップトレーニング教材費」活動費寄付協力:(株)リコー CSR室 社会貢献クラブ・FreeWill 事務局

【写真で見る活動の様子: Alex によるリーダーシップトレーニングの様子】

カナダのスタッフ Alex によるリーダーシップトレーニング
小学生から社会人まで参加しました。



自分のタイプを考え強みや弱みを学び、活動に活かすため
グループでワークショップしました。



3) 外部ネットワーク事業

担当: 伴野保志(事業リーダー)、西郷和将、中島早苗、茶円愛子・溝越裕子(関西担当)

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働し FTCJ のビジョン、ゴールを実現することを目指す事業です。

<2009 年度参加・構築したネットワーク>

- ・ JNNE(教育協力 NGO ネットワーク): 開発途上国の子どもへの教育支援を行っている NGO によるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施しています。また、外務省との意見交換や政策提言なども行います。
- ・ 「世界中の子どもに教育を」キャンペーン: 世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し、世界の EFA(万人のための教育)運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしています。JNNE 加盟団体などで実行委員会を構成し、実施しています。FTCJ は運営委員団体として参加。
- ・ 児童労働ネットワーク(CL ネット): 児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組む NGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJ は運営委員団体として参加。
- ・ 日比 NGO ネットワーク: フィリピンでの開発支援活動を行う日本の NGO とフィリピンの NGO によるネットワーク。フォーラムや外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。
- ・ 「国連子どもの権利委員会に個人が申し立てできる制度を作ろう! キャンペーン」へ参加し情報交換、活動を実施。
- ・ その他非営利組織への会員登録や他団体との協力
より良い事業運営のため JANIC、関西国際交流協議会などへの団体会員登録や、丸幸ビルに事務所を構える NGO と協力したイベント、NTT 労組主催イベント、関西での国際協力イベントへの参加など。

<ネットワーク構築事業による活動一覧>

ネットワーク名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数	支出額(千円)
JNNE	教育協力 NGO との情報交換、またそれらの情報を事業担当者や会員へ提供。	通年	-	2 人	会員全体	5
世界中の子どもに教育をキャンペーン	出張講演やワークショップの実施	4 月～5 月	中学校、事務所	4 人	300 人	5
	アクションウィーク中に「世界一大きな授業」を実施。日本全国で 152 校 19683 人もが参加。途上国への教育支援拡充 FTCJ 子どもメンバー 6 人参加し御法川外務政務官に要請した。		外務大臣への政策提言	2 人	6 人	
CL ネット	児童労働に関するメインイベント「闇の子供たち上映とパネルトーク」実施。ブース出展参加	6/6	全電通労働会館	5 人	400 人	88
	FTCJ 子どもメンバー企画による「キッズウォーク」の準備、広報、実施。取材 3 件あり	6/7	渋谷・表参道	5 人	60 人	
	大阪・御堂筋での児童労働学習会とウォークを企画、準備、運営を実施(共催:シーライツ)取材 1 件あり(助成金:子ども人権連)	6/6	大阪聖パウロ教会・御堂筋	4 人	60 人	
	6 万人署名を外務省、文科省、厚労省に提出。子ども代表委員らが参加し手渡しをした。	10 月	各省庁へ訪問	5 人	-	
日比 NGO ネットワーク	フィリピンのよりよい開発支援のための話し合いや、外務省との情報交換、日比 NGO シンポジウム後のフォローアップの実施。	通年	東京	1 人	フィリピンの人々	5
グローバル・フェスタ	国際協力まつり「グローバル・フェスタ」にブース出展し、活動紹介や世界の子どもの現状を学ぶワークショップを実施するなどした。	10/3・4	日比谷公園	12 人	来場者 10 万人以上	84
OWF(ワン・ワールド・フェスティバル)	ブース出展を通じて活動やフェアトレード商品紹介、世界の貧困下の子どもの現状を伝え、日本の私たちにできる事を話す等実施した。	2/6・7	大阪国際交流センター	8 人	全体の来場者合計: 12,300 人	73
丸幸ビル NGO 祭り	丸幸ビルに事務所を構える NGO で共催して事務所全体を解放し活動紹介を実施。	6～9 月 9/13	丸幸ビル(台東区)	6 人	250 人	3.5
NTT 労組中央・千葉神奈川	児童労働撲滅キャンペーン 09in 千葉への参加	4/4	千葉	4 人	2,000 人	6
	児童労働撲滅キャンペーン 08in 横浜への参加	5/31	横浜駅前	1 人	2,000 人	1
CRC 関連	個人申し立て制度の設置に向け活動。読売ジュニアプレスにて WS が報道されました。	10 月-	SCJ、東洋大学	2 人	子ども	-

4) アドボカシー事業

担当: 中島早苗(事業リーダー)、出野恵子、佐藤美紗子、西垣春奈、町井望、鈴木悠仁子、天野冬樹、FTCJ10周年事業実行委員会(上記に加え古津真弓、浅田紀子、佐光紀子、茶円愛子、溝越裕子)

◆事業の目的と役割・活動内容

目的: 国際問題や権利を奪われた子どもの現状を様々な方法で伝え、多くの人に知ってもらうことで問題解決につなげる。

主に関東と関西で事業を展開しています。

内容: スピーカー派遣、イベント開催、ニュースレター発行、ホームページ更新、出版、資料開発、物販など

事業名	内容	作業実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ニュースレター発行	NL 20号 FTCカナダ訪問報告特集 など	5月	東京事務所	6人	各号200部印刷	53
	NL 21号 インド訪問報告特集、その他海外支援事業紹介	10月				
	NL 22号 FTCJ10周年事業報告(クレイグ来日、ライブ等)	3月				
スピーカー派遣及び事務所訪問対応	世界の貧困、児童労働、紛争、子どもの権利、それに対する取り組みとして団体活動紹介のため出張講演や事務所での訪問対応を実施。学校訪問や事務所対応: 小学校1校、中学校6校、高校7校、大学2校、その他団体6回、合計22回	通年	東京、神奈川、名古屋、大阪、京都、兵庫、千葉、大分	15人	関東、関西、中部、九州の学校や団体、一般向け施設などにて約2800人	87
ホームページ更新・作成	新しい情報をデザインするなど随時対応。特に10周年事業やインド支援に関する情報を作成。	通年	-	4人	1日平均200人程度アクセスあり。	管理費に報告
出版	「世界を変える! みんなの力 MetoWe」出版協力	4~12	事務所,他	5人	子ども、一般	30
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など。	通年	事務所	6人	子ども、一般	624
イベント	【癒しフェア】ブース出展し活動紹介、物品販売	8/8,9	東京ビックサイト	7人	45,000人	25
	【子どもの権利条約20周年記念イベント】ブース出展をし、活動紹介や、FTCJメンバーによる児童労働を伝えるための朗読劇を実施。	8/29・30	全労災ホール・スペースゼロ(新宿)	6人	延べ1,000人	10
	【地球愛まつり】飢餓救済、環境保護のためのイベントにブース出展し活動紹介を行った。	9/12	サントリー亀戸(東京)	4人	2,000人	5
	【埼玉県平和資料館主催】児童労働や FTCJ メンバー活動パネル展示を通じた活動紹介	8/4~11/8	埼玉県	1人	10,000人	4
	【英語で学ぼう! 国際協力】外国籍の FTCJ サポーターによる英語講座を開催。	9、10月	事務所	3人	16人	3
	【関西イベント】チャリティーフランス語講座。参加費はインドの学校建設事業に使用。	2/	大阪 ONP	6人	15人	4
	【Let's 国際人!】英会話上達のための講座。毎回 FTCJ 活動や国際問題を学べるプログラムを展開	2、3月	事務所	2人	11人	11
アクションキッズ	演劇などを通じて児童労働問題を伝える子どもによるパフォーマンス活動。	通年	東京・千葉	7人	200人	157
10周特別事業	「MONKEY MAJIK チャリティーライブ」 インド学校建設事業のための資金を集めるため MONKEY MAJIK にご出演頂き、ライブを実施。当日はチャリティーオークションなども行った。 ・協力: カナダ大使館~日加修好80周年記念~ ・協賛: マニユライフ生命保険株式会社、他 ・特別協力: Lucy Kent 氏(司会)	10/24	カナダ大使館ホール	14人	600人	1,154

事業名	内容	作業実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
10周年特別事業	FTCJ 設立 10 年を記念して FTC 創設者のクレイグを招聘し東京・大阪・仙台で講演会や交流会を実施。 ・協力:カナダ大使館～日加修好 80 周年記念～ ・協賛: マニュアルライフ生命保険株式会社、株式会社ワイズ・インフィニティ、株式会社プレイズ	準備 4～12 月	東京事務所、大阪連絡所	12 人	—	1,055
	クレイグ来日特別イベント「子どもは世界を変えられるのか～カナダの活動家クレイグが語る～」 ・特別協力: 宮本絢子氏(司会)、Dew	12/11	カナダ大使館	7 人	210 人	
	FTCJ10 周年特別イベント in 東京 「ソーシャルビジネス～青年起業家と語ろう～」 「世界を変えるためのActionのおこしかた」 ・後援: 明治学院大学 国際平和研究所	12/12	明治学院大学白金校舎	16 人	290 人	
	「FTCJ10 周年記念交流会」 ・協力: 明治学院高校	12/12	明治学院高校	8 人	60 人	
	FTCJ10 周年特別イベント in 大阪 「私が変われば世界が変わる！」 ・特別協力: キャッピー吉森氏(司会)	12/13	エルおおさか	8 人	100 人	
	クレイグ・キールバーガー来日講演会	12/14	仙台育英高校	2 人	300 人	
	クレイグ・キールバーガー来日公演会	12/15	田園調布 雙葉高校	3 人	500 人	

【写真で見る活動の様子:FTCJ10 周年事業】

チャリティーライブで演奏する.Mokey Majik

チャリティーライブオークションの様子

ライブでプレゼンする高校生メンバー



10周年事業受付準備をする子どもメンバー



3 度目の来日を果たしたクレイグ
(カナダ大使館での講演会にて)



5) 海外自立支援事業

担当: 中島早苗(事業リーダー)、諏訪真衣子、鈴木悠仁子、田尻可枝、萩原由加、伴野保志、茶円愛子

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的: 貧困などが原因で権利を奪われ困っている途上国の子ども(支援地域のフィリピン、インド、モンゴル)が権利が守られ教育を受けられるよう支援します。

内容: フィリピン、インド、モンゴルの貧困地域の子どもへの自立支援を実施。

<フィリピン支援事業>

FTCJ では、3つのフィリピンのパートナー団体を通じて支援事業を実施しました。パートナー団体は次の通り

1. プレダ基金(PREDA Foundation Inc.)

プレダ基金はフィリピン・オロンガポ市にある NGO で性的虐待や刑務所から子どもを保護し支援するなどしています。団体名の PREDA は、Peoples Recovery Empowerment and Development Assistance の略で「人々の回復や発展の支援」という意味です。1974年アイルランド人のシェイ・カレン神父とフィリピン人のヘルモソ夫妻によって設立され「子どもや女性、貧困層の人々を守る」という使命を掲げて活動しています。貧困層の自立のためフェアトレード事業も行っています。ノーベル平和賞に過去2回ノミネートされるなど世界的に評価されています。

2. タタグ(TATAG)

TATAG は「Tayo Ang Tinig At Gabay」の略でフィリピン語で「私たち自身が声であり道標である」という意味。フィリピン・オロンガポ市を拠点に路上で働く子どもへのワークショップ(ストリートエジュケーション)やその他教育支援、ストリートエジュケーター育成、貧困地域への自立支援と幼児教育を行っています。1994年に元ストリートチルドレンの経験を持つアバイガル氏によって設立。子どもの力を引き出し、子ども自身が声をあげられる社会を目指し活動しています。

3. **Consortium of Community Initiatives on Education for Peace and Development Inc..(平和と開発のための教育推進地域団体協議会)** フィリピンの南にあるミンダナオ島では、いくつかの反政府武装グループと政府軍の間で紛争が起きており、それによって子どもたちが殺傷され、家族を失い住む場所を追われるなど犠牲となっています。そこで、FTCJは紛争地域の子どもへの支援を行っています。このパートナーはいくつかの NGO が加盟してネットワークを作って運営されているミンダナオ島の子どもと女性の自立のための支援団体。

4. **オンドイ(09年度にフィリピンを襲った大型台風)被災地域のケソン市のコミュニティ緊急支援**

台風洪水被害にあったケソン市のコミュニティへの復興支援のため緊急募金を呼びかけ、13万円が集まりました。この募金で、被災地のデイケアセンター(幼稚園)の屋根修繕や地域の子どもの文房具配布のための資金として役立てられました。被災地域の屋根修繕については、10年3月に実施した FTCJ フィリピンスタディツアーで現地を訪れ参加者がボランティアワークをして、実施しました。

特別協力: 立命館太平洋大学サンピッコロ、文京学院大学学生グループ(堀内教授ゼミ)、その他個人の皆様

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
プレダ基金支援	プレダ基金で保護されている子ども(少女・少年あわせ約120人)の教育、自立支援。また、プレダ基金が販売するフェアトレード商品を購入し貧困層の自立への支援を行いました。	通年	保護された少年・少女150人	344
タタグ支援	手紙を通じて交流しながら働く子どもを支援する制度「文通プロジェクト」を設置・運営した。それら集った資金は、働く子どもへの教育支援、ストリートエジュケーター養成、働く子どもへの栄養強化プログラムの実施事業費のために使われました。	通年	路上で働く子ども、貧困層の子ども約100人	469
ミンダナオ支援	ミンダナオ島の紛争被害にあった子どもへの心と体のケアや教育支援事業を実施しています。	通年	紛争被害にあった子ども約200人	404
フィリピンスタディツアー/緊急支援	フィリピン支援事業の状況を把握し、支援先の子どもや児童労働の現状を調査するためにケソン、マニラ、オロンガポを訪問。参加者はスタッフ含め中学生から社会人まで17人が集まりました。昨年大型台風により洪水の被害を受けたケソン市の地域を訪問し、デイケアセンター(幼稚園)の屋根の補修のボランティアワークを実施しました。また、スタディツアーの実施にあわせて国内で集められた文房具、靴、カバン、スポーツ用品などを支援物資として現地に届けました。 ・支援物資寄付: ホシノドリームズプロジェクト、(株)ホリ・エンタープライズ・キブリング事業部、その他学校3校	3/20~29	スタツア参加者16人/支援物資受益者子ども500人以上	1,186

【写真で見る活動報告(10年3月スタディツアー時撮影)】

タタグ文房具支援(鉛筆を手にする支援先の子どもたち)



洪水被害にあった幼稚園校舎屋根修繕を実施しました。
写真は地域の人と一緒にコンクリート生成作業の様子。



刑務所や路上から救出された支援先の子どもたちに文房具やスポーツ用品を渡しました。
(提供: ホシノドリームズプロジェクト、国府台女子学院)



タタグ物資支援(かばん提供: キプリング、他)



洪水被害にあった地域の子どもへ文房具や下着を支援物資として配布しました。



支援物資でバレーボールを楽しむ子どもたち



<インド支援事業>

1. 西ベンガル州の貧困の中におかれた子どもへの支援を実施しました。

◆**事業目的**: インドの貧困のために権利を奪われ、児童労働などの過酷な環境に置かれている子どもが、FTCJ の支援を通して貧困状態から助け出し、必要以上の空腹や苦痛を感じることなく子ども時代を送り、それぞれの環境で自立して生活できるための教育を受けられるよう支援します。

◆**パートナー団体**: Center for Communication and Development (以下 CCD)

<設立経緯・背景>

1978年、現在この団体の理事を務めるスワパン氏と彼の友人アマタバ氏が大学卒業間近だったときに起こった洪水がきっかけとなりCCDが設立された。スワパン氏たちは被害を受けた人々を支援するためにCCDを設立。市街地から離れた所に医療診療所 (Medical clinic) を作ることに着手し、学校のない村に学校建設事業や収入向上プロジェクト (Economic welfare activities) を開始。このプロジェクトは、貧困家庭にミシンや家畜・原材料を提供し、その使用方法や飼育方法を教え、商品を作り出し、それを売ることによって生計をたて自立できるようにするもの。最後にはミシンや家畜を返してもらい、誰に頼ることもなく村で自立できるようになることを目的としたシステムである。翌年からは危険な工場で働く子どもを救出し家族のもとへ返したり保護施設に預けたりする活動を始めた。



↑ CCD が運営する養護施設「マクタニール子どもの家」

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
CCD マクタニール養護施設運営事業	<p>貧困のため家族と一緒に過ごせない子どもや過酷な環境で働いていた子どもを救出し、子どもたちが安心して生活できるような環境を提供するため養護施設「マクタニール子どもの家」の運営を実施。現在、2歳～15歳までの子ども24人が生活しています。</p> <p>協力体制: 現地パートナー団体 CCD</p> <p>成果: FTCJ の支援によって、施設で生活する子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らしています。また、美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育んでいます。具体的には学校に通うために必要な制服や文房具の購入、ワークショップ教材費を支援しています。</p>	通年	マクタニール擁護施設で生活する24人の子ども	238

【写真で見る活動報告】

マクタニール養護施設で生活する子ども
絵画ワークショップでの様子。

カメラを使ったワークショップに参加
したマクタニール養護施設の子どもたち



マクタニール養護施設で生活する
子ども。みんな本が大好き！！



2. 2009 年度よりラジャスタン州の貧困農村地域の子どもへの支援活動をスタート！

◆**事業目的**: インドの貧困農村地域で生活する子どもたちが、FTCJ の支援を通して子どもの権利を守られ安全で健康な子ども時代を送り、それぞれの環境で自立して生活するのに十分な教育を受けられるよう支援します。

◆**事業実施体制**: FTC ネットワークにより実施 (FTC インドとの連携協力)

◆支援地域について

支援事業地: ラジャスタン州ラジュサマン地区 (ウダイプールから 100km の距離)

支援地背景: ラジュサマン地区の人口の 75% は未開拓地に住んでいます。そのコミュニティには様々な少数民族が住んでいます。このような僻地に住んでいる先住民族の人々は長い間社会から隔離され、取り残されてきたといえます。村は深い森と高い丘に囲まれており、土地は平らではありません。村には電気やガスは通っていません。また、灌漑用水も無く土地を耕作する事が出来ないの、村人の多くはやせた土地に住んでいるため出稼ぎ労働に従事しています。

支援地識字率: ウダウッドには 138 以上の世帯があり、765 人以上が住んでいます。本来学校に通うべき年齢の子どもが 135 人以上いますが、たったの 92 人だけが小学校に入学しています。しかも、平均の出席人数はたったの 56 人です。公的なサポートや介入が無いので、この地区の識字率は 16% 以下で、女性だけの場合は 6% 以下です。

支援地課題: 地域特有問題として、教育機関や資源も少ないうえに、良質な教育を与える先生も不足しています。保健医療も無く必要最低限な医療活動もありません。もう一つの問題は、土地の大部分が政府に所有されている事で、25% だけが人々が耕作する為に残されていますが、岩と穴だらけです。職不足と水不足と食不足が続いているので、住民たちは悩まされています。

事業名	事業内容	実施 日 時	受益対象者 の範囲及び 人 数	支出額 (千円)
インド農村 地域自立支 援－学校建 設事業	<p>学校設備が不足しているため、教育を受けることができない貧困農村地域の子どもが学校に通い教育を受けられるよう、学校建設を実施します。そこで、2009 年度は支援地域を訪問し、情報を集めるなど調査を行いました。また、学校建設の必要性や重要性を伝えるための支援地域の状況に関する資料作成などを行いました。</p> <p>成果: 2009 年度を通じて、現状を伝え協力を呼びかける活動を行った結果、学校建設に必要な資金を集めることができました。09 年度集めた資金は、2010 年度に学校建設事業を実施するために繰越しました。</p>	通年	ウダウッド村の 子ども 135 人	95

【写真で見る活動報告】

支援地域付近にある中心地ウダイプールの工事現場では、大人に混ざり子どもが45度の炎天下の中働いていた。



工事現場で働く女の子。自分の年齢を知らず、一度も学校に通ったことがない、通ってみたいと話した。



薪を拾い運ぶ村の少女。山肌は乾燥して草木は殆ど生えていない。村に唯一ある水源からの水汲みは女性の仕事。



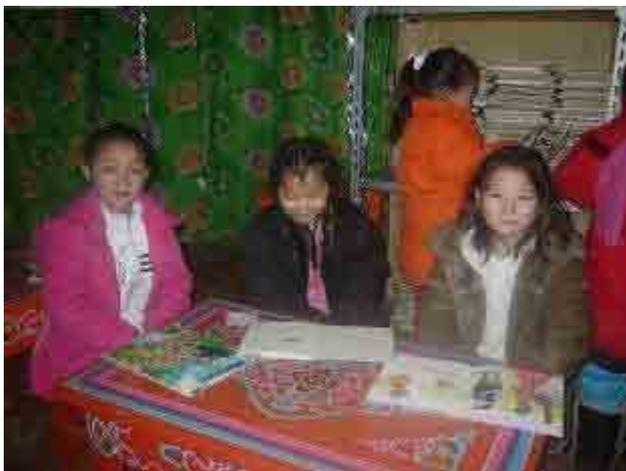
＜モンゴル支援事業＞ 図書施設運営事業

FTCJでは2008年8月にモンゴルの子ども教育支援事業としてゲルの図書施設を建設し09年度は運営を実施しました。

事業名	事業内容	実施 日 時	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
移動図書館 設置運営 事業	<p>支援事業地: 首都ウランバートル(UB)市バヤンズルフ地区 ゲルで暮らす人々が多い UB 市の東に約10KM の車市場近くにある #92 学校のとなり(第 8 地区内)の土地。約 3,000 人の貧困家庭の子ども(16 歳以下)が住んでいる地域で、この地区に住む 16 歳以下の子どもの 4 分の 3 にあたる人数です。</p> <p>事業目標: 支援事業地周辺に住む子どもが図書館に来ることで、様々な本が通じて想像力を養い、識字能力を高めることができること。ひいては、自身の夢や希望を持ち実現のために歩むことができる。</p> <p>事業内容: 「ゲル図書施設」運営をすることで、モンゴルの厳しい暑さや寒さから身を守り、勉強や交流、安らぐ場所としてゲル施設を機能させました。子どもが読書や勉強など知識を深めることができる場所とするため、図書施設の運営を実施。具体的には、本を読みに来る子どものケア、手洗いうがいの呼びかけ、文字の読み書きレッスン、日本語レッスン、音楽レッスン、算数レッスンなどを実施しました。同時に日本の支援者との文通を通じた交流を実施しました。</p> <p>担当職員: FTCJ モンゴル支援事業担当 ウルジンジャブ</p> <p>協力体制: NPO 法人アジアの会 代表 高岡良助氏</p> <p>成果: 2009年(基本的には月曜～金曜まで週5日間を開館運営)を通し少ない月で述べ1300人、多い月で3800人もの子どもが本を読みに来ました。また、図書だけではなく、定期的に馬頭琴のレッスンも実施し、子どもが音楽を学び触れることもできました。その他、文字の読み書き、算数計算のレッスンも実施しました。スポーツ用品や図画工作の道具の設置で、絵を描いたりスポーツ用品で体を動かす子どもも多くみられました。</p>	通年	支援地域に住む 2000 人の子ども	211

【写真で見る活動報告】

FTCJ 図書館に本を読みに来た子どもたち(10年1月撮影) 日本語レッスンの様子。(先生は現地スタッフが勤めました)



電子ピアノのレッスンを実施しました。



(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業報告

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	—	12人	—
研修参加	円滑な組織・事務局運営のため労務や会計、並びにJANIC主催「NGO活力UP!事業」研修へ理事、事務局員が参加。	2、3月	TVC事務所	10人	83
個人情報管理	アクセスのデータを構築し、メンバーや協力者などの個人情報を整理し、管理を行った。	通年	東京事務所	5人	1,474
問い合わせ対応	eメール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京事務所、大阪連絡所	5人	
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	1人	
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	事務所	14人	—
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	事務所	5人	1,560

【メディア掲載一覧】2009年度にメディアで配信されたFTCJの活動やメンバーやスタッフの寄稿による団体紹介です。

メディア配信・媒体名	時期	内容
人権タイムス 機関紙	3回	事務局長中島早苗による子どもの権利に係わる原稿掲載されました。
高校家庭科教科書	2009 生活学 Navi	FTCJの活動が紹介されました。
中学公民教科書	ビジュアル公民 2009	子ども兵士や教育を受けられない子どもについての情報提供。
高校英語教科書	UNICORN	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレッスントピックとして掲載されています。
高校英語教科書	English Now !	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレッスントピックとして掲載されています。
朝日中学生ウィークリー	2009年5月31日	世界の教育問題を学んだFTCJ子どもメンバーが外務省の政務官を訪問した事を紹介して頂きました。
朝日小学生新聞(関西)	2009年6月12日	児童労働反対世界デーにちなんで大阪での児童労働ウォークの掲載。
朝日中学生ウィークリー	2009年7月5日	もぎたて倶楽部 児童労働を考える輪を広げたい、キッズパワーキャンペーンが紹介されました。
TOKYO HEADLINE Area7	2009年10月12日	10月24日カナダ大使館での Monkey Majik チャリティーライブ特集。
毎日ウィークリー No. 1925	2009年11月7日	Rocking the world、10月24日のチャリティーライブに関しての特集。
朝日小学生新聞	2009年12月6日	週刊ママタイムズにて子どもの権利守るイベント主催としてFTCJが紹介されました。
読売新聞 夕刊	2009年12月8日	FTCJ10周年事業クレイグ来日イベントについて告知紹介されました。
J-WAVE	2009年12月11日	ジョン・カピラ氏ナビゲーター番組にて高校生メンバーと事務局スタッフ出野恵子が出演しFTCJの活動紹介をしました。
毎日新聞	2009年12月11日	FTCJ10周年事業クレイグ来日イベントについて告知紹介されました。
NHK-BS1「きょうの世界」	2009年12月18日	クレイグのインタビュー、来日イベントの様子や事務局長の中島早苗のコメントなどが放映されました。
聖教新聞	2009年12月24日	働かされる子どもたちに関して、取り巻く環境整備が不可欠である、意識を変えることが重要であると、理事の佐光が取材されました。
MORGEN(雑誌)	2010年1月8日	子どもは世界を変えられるのか、カナダの活動家クレイグが語る。
クロワッサン(雑誌)774号	2010年2月10日	クレイグインタビューと書籍「世界を変える! みんなの力 MEtoWe」紹介
読売新聞(夕刊)	2010年1月9日	ジュニアプレスにて児童労働根絶訴えるNGO代表講演『子供でも世界を変えられる』クレイグ・キールバーガーが紹介されました。
日本経済新聞 生活・ひと	2010年1月12日	フォーカスにて児童労働撲滅をめざすNGO代表『子どもの目線を世界に』訴えるクレイグ・キールバーガーが紹介されました。
毎日新聞 特集ワイド	2010年1月12日	今をつかむにて12歳でもできる人助け、新刊紹介がされました。
河北新報	2010年1月	クレイグ来日特に仙台訪問の様子とFTCJの活動紹介がされました。
東典日報	2010年1月23日	クレイグ来日の様子とFTCJ活動紹介がされました。
神戸新聞 3総合14版	2010年1月24日	クレイグ来日の様子とFTCJ活動紹介がされました。
信濃毎日新聞	2010年1月31日	時の人として、クレイグやFTCJ活動紹介がされました。
幸いな人(雑誌)	2010年1月号	事務局長中島早苗執筆原稿が掲載されました。
子どもの権利条約99号	2010年3月15日	クレイグ来日の様子やFTCJの活動紹介がされました。
東北日本カナダ協会	2010年3月15日	ノーベル平和賞3回ノミネートクレイグの講演が紹介されました。
公明新聞	2010年3月28日	FTCJ中高生による海外の子どもに対する支援活動が掲載されました。